

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ			単位数	4
学科	工業科	履修学年	1	コース		必修・選択	必修
教科書	MY WAY English Communication I New Edition (三省堂)						
副教材等	MY WAY English Communication I New Edition WORKBOOK STANDARD (三省堂) 英単語ターゲット 1200 (旺文社) ベーシックジーニアス英和辞典 第3版 (大修館書店)						

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①自己実現に向けて主体的に行動し、目標達成のために継続的に粘り強く取り組む能力と態度を育成する。 ②社会の一員として自己の責任を自覚し、他者と協働しながらより良い社会の実現を目指す態度を育成する。 ③人権、差別問題等を正しく理解し、適切な行動をとることができる能力と態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①進路目標に応じた情報収集や分析等により、生徒に現状と課題を認識させ、進路実現への意欲を高め、自主的な学習活動を促す。 ②ICTの活用による学習効果を高める工夫や積極的な授業改善により、生徒が「より深く分かる」授業を展開する。 ③探究活動を通じて、広い視野で物事を捉え思考する能力、課題解決に主体的に取り組む姿勢を育成する。また、発表等の機会を活用し、企画力やプレゼンテーション能力等の育成を図る。 ④人権に関する課題や多様性について理解を深め、課題を自らの事として捉え、人権を尊重する行動がとれる資質を身に付ける。 ⑤生徒の人格を尊重した丁寧な指導や、内面に寄り添った支援等により、自律的な行動への変容を促し、自己指導力を向上させる。

学習目標	(1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (3) 話すこと [やり取り] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多く
------	--

		の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。 (4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。		
指導の重点		生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 対話や放送、説明などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要を把握する。 イ 電子メールやパンフレット、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要を把握する。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う。 ウ 情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う。また、対話や説明に対して、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う。 エ 様々な話題について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える。また、書いた内容を読み合い、質疑応答し、意見や感想を伝え合う。		
学習計画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)	評価方法
	1 学期 (40)	Lesson 1 Fonts and Communication	フォントの特徴・効果・開発 現在形・過去形・進行形・ SVO(O=that 節)	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、ノート等各種提出物などから総合的に判断し、評価する。
		Lesson 2 Beavers	自然、共生 受け身・助動詞＋受け身・比較	
		Lesson 3 Alternative Foods	食品・農業・人口問題 動名詞・to 不定詞の名詞的用法・It is ...to 不定詞、to 不定詞の副詞的 用法・形容詞的用法	
		Lesson 4 Messages from Winnie- the-Pooh	生き方 現在完了形・現在完了進行形・過去 完了形	
	2 学期 (48)	Lesson 5 Endangered Languages	ことば、比較文化 関係代名詞	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、ノート等各種提出物などから総合的に判断し、評価する。
		Lesson 6 Musicians of the Metro	文化・芸術 関係副詞 when / where ・関係副詞 why	

		Lesson 7 A Wheelchair Traveler	異文化、生き方、共生 現在分詞・過去分詞の形容詞的用法・分詞構文・It is ...that	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、ノート等各種提出物などから総合的に判断し、評価する。
		Lesson 8 The progress of Keys	鍵の歴史、科学技術 条件を表す if 節・仮定法過去・I wish～／as if～	
3 学期 (40)	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination	人物、生き方 SVO ₁ O ₂ (O ₂ =how to～)・SVO+to 不定詞・SVOC(C=動詞の原形、現在分詞)		
	Lesson 10 Toward a Sustainable World	地球環境 プレゼンテーション・学校生活		
計 1 2 8 時間（5 5 分授業）				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価の観点 の趣旨と 評価方法	英語の音声や語彙・表現・文法、言語の働きなどについて理解し、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用している。	写真を参考に聞き取ったり読み取ったものから概要や要点、必要な情報を把握している。基本的な語句や文を用いて、考えを話したり、書いたりして伝えている。	文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的に英語でコミュニケーションを図る。	
	以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物などから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。	以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物などから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。	以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物などから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。	